

令和3年度我孫子市男女共同参画審議会 会議概要

1. 会議の名称 我孫子市男女共同参画審議会
2. 開催日時 令和3年10月27日 15:00～16:40
3. 開催場所 議長応接室
4. 出席者 (委員) 皆川満寿美、横田光夫、山本聖、相馬英里、片岡綾、向美乃里、中野きよみ、以上7名
(事務局)岡田秘書広報課長、藤代男女共同参画室長、辻主査、大島
5. 欠席者 齋藤美重子、柳川眞佐子、池田尚史、本村敏昭、中野直美、以上5名
6. 傍聴人 なし
7. 議題 (1) 我孫子市第3次男女共同参画プラン令和2年度実施状況報告書(案)
(2) 第4次男女共同参画プラン平成31(令和元)年度実施状況について
(3) その他
8. 会議の概要

議題(1) 我孫子市第3次男女共同参画プラン令和2年度実施状況報告書(案)

<事務局からの説明>

事務局から令和2年度の主な実施状況について、評価指標を中心に説明した。委員からの主な意見は次の通り。

<委員の意見>

・男性職員の育児休業について

(皆川委員) 子育て休暇(法律で定められた制度である育児休業ではなくいわゆる育児休暇)の男性取得が多いが、これが育児休業に結びついていないのは問題である。また、男性の数値を評価する参考として女性の育児休業と子育て休暇の取得率を載せていただきたい。

(中野委員) 市男性職員に育児休業取得者が出たことは、とても大きな一歩だと思う。今後継続するためにも、市長からの励まし・奨励があれば、さらに心強いのではないか。昨年2月20日に開催された市職員研修では、狛江市の市長が育児休業を取得した男性職員に「市長レター」なるものを交付しているとお話があった。市長が男性職員の育児休業を理解し、取得の背中を押してくれているという、形で分かる素晴らしい応援だと思う。星野市長が「おとう飯サポーター」に就任されたという勢いそのままに、市長より「市長レター」のような、目に見える激励を市男性職員育児休業取得者に交付されることも、ご検討いただければと思う。

・審議会の女性委員比率について

(相馬委員) 別掲1の審議会女性比率について、空家等対策協議会の女性がゼロというのはなぜか。逆に石けん利用推進協議会は女性が100%であり、男性がいないのはなぜか。また、石けん利用推進協議会と石けん利用推進対策協議会という似たような協議会があるがどのような違いがあるのか。

(皆川委員) 審議会についての全国的傾向だが我孫子市においても、都市関係・まちづくりの分野の審議会に女性の視点が不足している。

(中野委員) 公募委員について、ホームページを参考に近隣の流山市と比較してみた。単純に比較

するのは難しいが、流山市のほうが「公募の市民」枠が多い印象を受ける。また、流山市の審議会HPの最初の画面には、「令和3年度 附属機関（審議会等）委員の公募予定」があり、公募希望者へのアクセスの良さも感じた。公募への応募者が必ずしも全員女性になるとは言えないが、生活者としての視点を醸成させている子育て世代や青年層でも、審議会への参加を前向きに考える人は少なからず存在すると思う。公募枠増設の検討をぜひお願いしたい。

・自治会長の女性比率について

（皆川委員）自治会長の女性比率が高くなったが、担当課（市民活動支援課）がどのような努力をした結果なのかを明らかにしてほしい。

（横田委員）自治会の役員はかつては世帯主ということで男性ばかりだったが、最近は女性の役員も増えてきている。しかし、男性も女性も会長は面倒なのでやりたくないという傾向があると思う。女性は「（面倒なので）男性にやってほしい」と言い、それに対して男性は「いや男女共同参画の時代なので女性になってもいい」と言い返す動きになって、結局は男性が引き受けていることが多いように思える。

（皆川委員）自治会長の女性比率に対し、まちづくり協議会会長は参考指標となっているが、ずっと女性ゼロが続いている。まちづくり協議会の方も女性会長を増やす努力をしてほしい。

・まちづくり・広報について

（片岡委員）市民活動の仕事をしているが、先日「広報あびこ」の地域会議の記事を見て初めてその存在を知った。自分の住むまちをよくしたいと思ったときにどこにアクセスしたらよいかわからないということがある。20～30歳代の子育て世代の女性と接する機会が多いが、「広報あびこ」による情報収集に積極的だと感じている。一般紙を購読していなくても郵送してもらったり、公共施設に取りに行ったりしている。女性たちの地域参画のため、広報紙を含めさまざまな手段での魅力的な広報について、もっと努力してほしい。子育て世代は時間がないので長い文章は読んでられない。インスタなどで視覚的にひきつける工夫やおしゃれな感じも大事。

（中野委員）流山市がうまくPRしていると思うので見習ったらどうか。

（片岡委員）流山市には4年前まで住んでいて実際に子育てしたが保育園などで苦勞も多かった。宣伝が先行して整備が追い付かないところがあるのかもしれない。また積極的な女性たちが輝いていて、そうでない人にはとっつきにくいかもしれない。我孫子に引っ越してきて、我孫子市こそ、子育てしやすいまちだと感じている。良さが今一つ伝わっていないことが惜しいと思う。

議題（2）令和3年度男女共同参画啓発事業

<事務局からの説明>

今年度の男女共同参画室の事業について事務局から報告した。

議題（3）その他

<事務局からの説明>

今後の審議会の予定について事務局から説明した。

議題1「第3次男女共同参画プラン令和2年度実施状況報告書（案）」については、終了後に期日を設けて追加で意見を受け付ける。意見については、担当課に伝え、次年度以降の男女共同参画推進に役立てていく。そのほか質問については担当課に確認の上、改めて委員全員に、書面（メール）

にて回答する。

<委員の意見>

（皆川委員）プランの令和2年度進行状況の審議は今回限りということなので、さらに意見があれば事務局にメールで提出してほしい。事務事業全体の中に偏りがないかどうかみていくことが必要だが、審議の時間が足りないと感じる。進行状況を評価するのが審議会の役割であって、当審議会が市の男女共同参画推進のエンジンとならねばならない。

以 上